

磯子まつり

9月29日に磯子まつりが開催されました

当日は、真剣な眼差しで作製に没頭することも達や大きな声でゲームを楽しむ子ども達など約500人の子ども達にご参加いただき、会場は大変な賑わいとなりました。

また、横浜市子ども虐待防止のキャラクター「キャッピー」が区役所1階ホールに登場した際には、たくさんの親子が大喜びし、記念撮影や握手をしていました。



◆イベントの一幕



◆キャッピーと記念撮影

赤い羽根共同募金

10月1日磯子区内では、民生委員児童委員が一同に赤い羽根共同募金活動を行い、磯子地区と屏風ヶ浦第1地区は共同で磯子駅改札前で行いました

磯子区長、共同募金会磯子区支会長、磯子区社会福祉協議会会長、磯子福祉保健センター長が激励に来てくださる中、募金箱に入れて足早に改札口を通る方々、赤い羽根を付けてもらい勲章を貰ったように胸を張って歩いて帰る男の子の姿を見て微笑ましく思いました。

皆さんからの尊い募金が有効に活用される事になれば良いと思いました。

【屏風ヶ浦第一地区 村上 千鳥】



◆磯子地区



◆屏風ヶ浦第一地区

発行：
磯子区民生委員
児童委員協議会

第50号
令和6年11月18日

民見協いそご

発行
50号

区長ご挨拶



今年4月に磯子区長に着任しました高橋功です。「民見協いそご第50号」の刊行おめでとうございます。第50号という節目にご挨拶させていただけることを大変うれしく思います。民生委員・児童委員の皆様におかれましては、日頃から身近な地域での支えあい活動など、地域保健福祉の担い手としてご尽力を賜り、深く感謝申し上げます。磯子区では、子どもからご年配の方まで様々な世代が安心して暮らせるように、「地域の皆さまとともにつくる 次世代を育む笑顔あふれるまち・いそご」を基本目標として区政運営を進めています。2027年には、磯子区制100周年を迎えるとともに、「GREEN×EXPO 2027」が開催されます。記念すべき年を皆さまと笑顔で迎えるため、地域と一体となって取り組んでまいります。皆さまのますますのお力添えをお願い申し上げます。

磯子区長 高橋 功

ご挨拶

新しいメンバーが加わりました



磯子福祉保健センター長 近藤 健彦

本年4月に磯子福祉保健センター長に着任しました近藤健彦と申します。

日頃から民生委員・児童委員の皆さまには、一人暮らし高齢者への見守り活動、子ども・子育て支援など地域福祉の推進にご尽力いただき、誠にありがとうございます。

着任後、ちょうど半年が過ぎたところですが、市内でも有数の歴史を誇る磯子区の人々の心の温かさを日々感じております。

地域で最も身近な相談役としてご活躍されている皆さまと連携しながら、磯子区地域福祉保健計画「スイッチON磯子」の基本理念である「誰もが 幸せに暮らせるまちを みんなでめざす」の実現に向けて取り組んでまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



磯子区福祉保健課運営企画係長 保坂 貴久

令和6年4月から事務局を担当させて頂くこととなりました保坂貴久と申します。民生委員・児童委員の皆さまには、見守り活動や日常支援等の福祉活動に継続して取り組んでいただきまして、本当にありがとうございます。

今回、事務局として皆様と一緒に働く機会をいただきました。民生委員・児童委員の皆様と直接一緒に仕事をさせていただくのは初めての経験となりますが、皆様により活動しやすくなるように、皆様と一緒に努めてまいりたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。



磯子区社協事務局長 小清水 経仁

4月に着任いたしました小清水と申します。民生委員・児童委員の皆様には、地域での福祉活動へのご尽力及び区社協事業へのご協力をいただき、誠にありがとうございます。

磯子区の地域でも福祉ニーズが多様化・複雑化しておりますが、このような状況においても、援助を必要とする人が自立した日常生活を営むことができるよう、皆様とともに人と人とのつながりが実感できる「地域共生社会」の実現を目指して参りたいと思います。これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。

編集後記

私たちは人との繋がりによって喜びと楽しさを沢山もらっているのだと改めて感じました。 【根岸地区 長田みどり】

ひとの喜びと楽しみを願い及ばずながら努めていきたい。

【滝頭地区 堀部 孝治】

広報委員会名簿

- 根岸地区 長田 みどり
- 滝頭地区 堀部 孝治
- 岡村地区 田辺 美代子
- 磯子地区 柳澤 浩子
- 汐見台地区 高木 美枝子
- 顧問：屋代 昭治 溝口 早苗 内藤 満
- 屏風ヶ浦第一地区 村上 千鳥
- 屏風ヶ浦第二地区 大山 亮一
- 杉田地区 中島 裕見子
- 上笹下地区 北見 一彦
- 洋光台地区 小川 恵美

全体一泊研修

まだまだ暑さが残る9月8日・9日と、令和6年度の全体研修に参加しました。現地での天気を心配しながらのバス2台での出発でした。高速道路を長野にひたすら進める中で、3本の動画を視聴しました。それぞれ勉強にはなりましたが、3本目のドラマでは、母親からの心理的虐待を受けている女子高校生が、アルバイトをしたコンビニエンスストアで様々な人々の優しさにふれて価値観に気づくというお話でしたが、周りの方と意見を言いながら楽しく見る事ができました。

1日目は旧軽井沢で時間を過ごし、宿泊地である戸倉上山田温泉に向かいました。夜は他の地区の方々との親睦を兼ねた夕食会でしたが、今までにないぐらい楽しい時を過ごすことができました。

2日目はいよいよ長野県赤十字社長野県支部の見学です。到着後赤十字社の説明と歴史資料館の見学の2グループに分れました。赤十字社の説明では、職員の数が少なくボランティアに支えられている事や、赤十字社の9つの事業があるが、「赤い羽根」は含まれていないという事実は少しの驚きがありました。歴史資料館では、赤十字の歴史を語るうえでの貴重な資料が多く展示されているとともに、その旧支部の建物を出来るだけ残して守っている事に感動しました。

心配した雨に降られることもなく帰りのバスで最後の動画を視聴し帰途につきました。

【杉田地区：中島 裕見子】



◆研修の一幕



◆赤十字長野県支部前にて



◆宿泊施設前にて

もくじ

区長ご挨拶／全体一泊研修	1
民生委員・児童委員の喜怒哀楽	2
赤い羽根共同募金／磯子まつり／事務局新メンバーご挨拶／編集後記	4

民生委員・児童委員の喜怒哀楽

民生委員・児童委員にアンケートを行ったら「喜び」と「楽しみ」にあふれていました。

喜・楽

- **楽しそう**に家族や趣味のお話しをしてくださる
- 自分が **誰かの役に立ったと実感**できる瞬間
 - 訪問回数を重ねることに、**笑顔でお話し**くださるようになり、**あなたが担当で良かった**とっていただいた
- 月一回の訪問でも「**いつも気にかけてくれてありがとう**」と言われた
- 訪問すると「**待ってたよ**」と笑顔で言われた
- **子ども達のキラッキラの笑顔**に出会える
 - **訪問を楽しみ**にしてくださっている様子が見える
 - 訪問の際、いつもこやかに接していただき**感謝の言葉**を頂ける
 - 大したことをしていないが、「**おかげで助かった**」と言われ、喜ばれた
 - コロナ禍で毎日テレビばかり見ていて、寂しくお話しができて**嬉しい**と言われた
 - **もっと**地域の活動に**参加したい**
 - 子ども達が**元気に走り回っている姿**に喜びを感じる
 - 子ども達の元気な声とか笑顔に**心が温かい**気持ちになる
 - イベントに参加される方々が**楽しそうに過ごされている姿**
 - 地域イベントに参加してくれた人が喜んでくれたり、**新しくお友達**ができたりするのを見て、こちらも楽しくなる

- 日常の場で、活動していて出会った保護者や子ども達に **声をかけてもらえる**
- 色々な思い出話などをお聞きしているうちに、「**もう少し、元気でいよう**」と笑顔で話された
- 子育てサロン等で乳幼児・保護者の **和やかな姿を見かけた**
- 以前よりも **顔色が良くなったり、歩いている姿を見かけた**
- 集会で皆さんと **とても楽しそうにしている姿**を見かけた



- **毎月笑顔に出会える**
 - 子ども達と**友達になれた**
 - **訪問を待って**いてくれた
 - 見守り先で**心強い**と言われた
- 訪問が少し遅れただけで、**こちらを心配した言葉**をくださる
- 経験豊かな方々から、**色々なお話しをお聞き**できる
- 訪問できないとき、お手紙に**丁寧なご返事**をいただけた
- 必要な情報を伝えることができ、**喜んでいただけた**
- コロナ禍で中止していたイベントが開催され、仲間とともに**初めて活動**できた
- 民生委員にならなければ **知り合えなかった方々**とお話しができる
- 街で偶然お会いし、**挨拶**を交わしたり、歩きながらお話しするとき
- 他の民生委員との雰囲気良く、**楽しく活動出来ている**
- イベントに来てくれる方が喜んでいただける内容を**企画**できる
- 個性豊かな **子ども達のチャレンジする姿**を見られる
- **同じ志を持った仲間**を得られた



怒・哀

- 担当している方が、急な入院や逝去により、お会いできなくなった
- 民生委員への認識が低い
- 民生委員の役割や仕事への誤解もあり、心無いことを言われた
- 何回か尋ねたが留守だったので心配していたが、後日入院と分かり安心したが連絡をいただけない

- 守秘義務を課せられているが、個人情報なのでと情報をいただけない
- 配付物を届けに行ったとき、家族の方に何かのセールスと思われた
- 緊急連絡してもなかなか連絡がつかず、なかなか対応していただけない
- 不満等、やるせない話を聞いていると、辛くなる
- 顔を合わせる機会が少ないので、なかなか信頼関係ができないのが、残念
- 気にかけていた方が入所され、もう少し何かできなかったかと悔やまれることがあった
- 家族が、訪問を快く思っていなかった